

警備業務 競技課題A' (交通)

(規制帯の設置及び車両誘導要領)

1 競技概要

片側2車線道路において工事により歩道側の片側1車線規制を行うため、歩道側1車線を資機材を使用して規制帯の設置を行い、警備責任者へ規制帯の設置完了の連絡を行う。次に、幅寄せ合図を行い、一般車両の安全かつスムーズな通行を確保する技術を競う。

2 競技(動作・文言)のポイント

- (1) 警備員らしい端正な服装、身だしなみであること
- (2) 資機材設置の際、安全確認を十分に行っていること
- (3) 資機材設置の手順が正確であること
- (4) 受傷事故防止の観点に立った誘導位置を選定していること
- (5) 一般車両に分かりやすい合図の方法を行っていること
- (6) 報告に使用する無線機を滝節に使用していること

3 使用資機材

- | | |
|-------------|-------------|
| ① カラーコーン | 6本 |
| ② トラロープ(8m) | 1本 |
| ③ 白ロープ(8m) | 4本 |
| ④ 矢印板 | 1枚 |
| ⑤ 台車 | 1台(車両想定) |
| ⑥ 赤白旗 | 1組 |
| ⑦ 旗ケース | 1つ |
| ⑧ トランシーバ | 2台(競技者・試験官) |

4 実施動作及び文言

※ **A**規制担当警備員兼、誘導担当警備員 **B**審査員
手)を水平に上げる]を継続する。

※ 合図の方法

α 幅寄せの合図

※ 警備員から見て車両を左に寄せる場合

- a 左手に赤旗、右手に白旗を持つ。
- b 幅寄せを求めようとする車両の進行方向に対して、体をやや半身にする。
- c 車両相手を注視しながら、右手の白旗を頭上から左肩の高さに右から左に振る。
- d 戻すときは逆の動作にする。
- e 左手の赤旗は、左体側に付けたままにする。

β 進行の合図

- a 赤旗を体側に降ろし、車両を注視しながら、右手の白旗を真横（肩の高さ）に上げ、進行させようとする車両方向に向ける。
- b 白旗を大きく半円を描くように、身体の正面を通過して左肘まで振る。

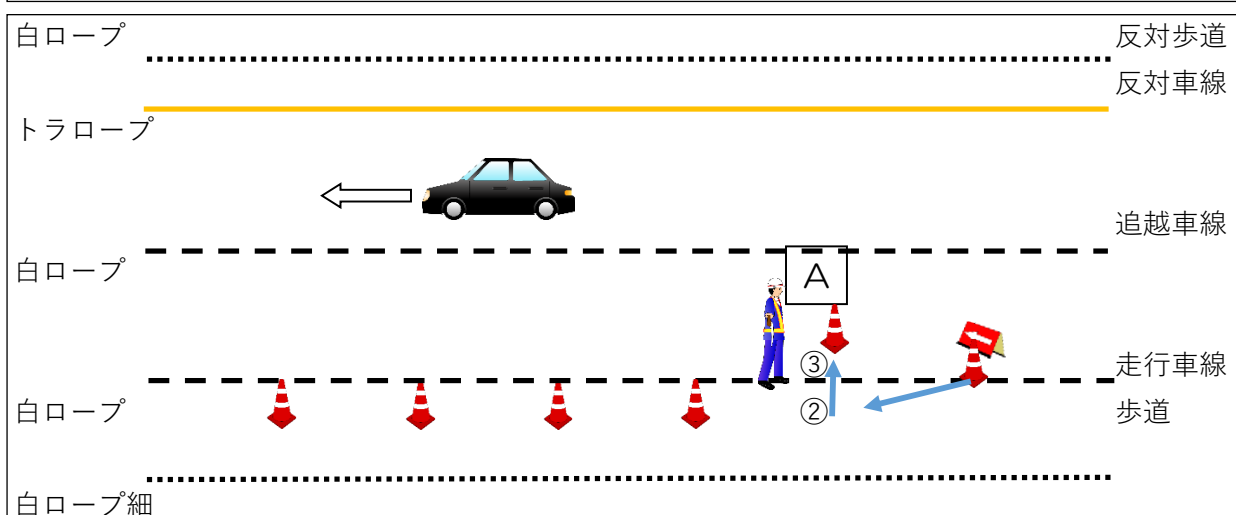
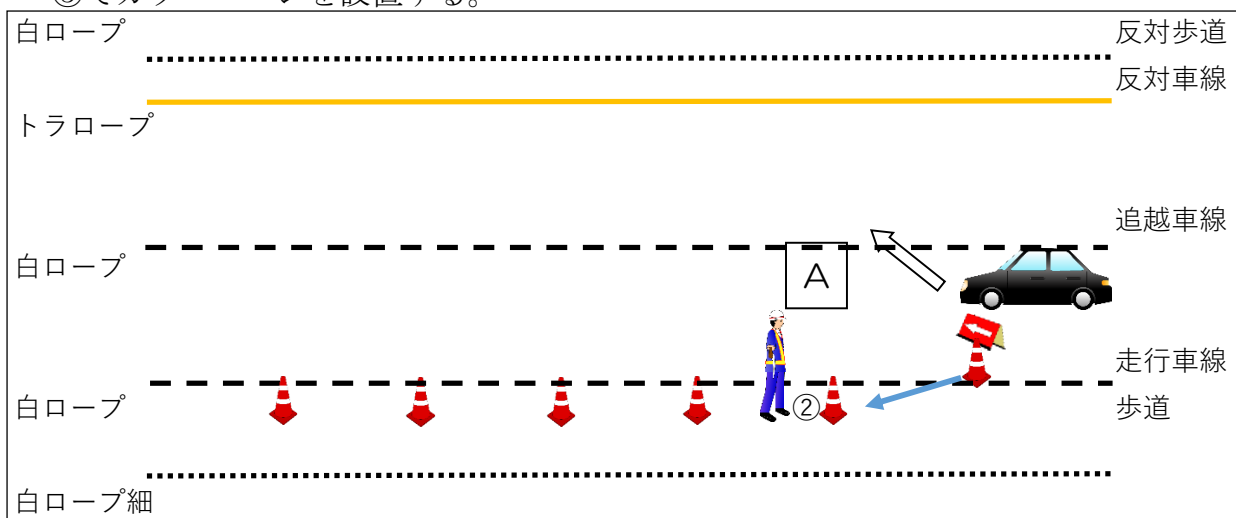
γ 引き込み合図

- a 工事車両に正対し白旗を頭上 60cm の高さへ垂直に上げる。
- b 工事車両を注視しながら白旗を頭上 60cm の高さにて左右に 30cm の振り幅で振る。

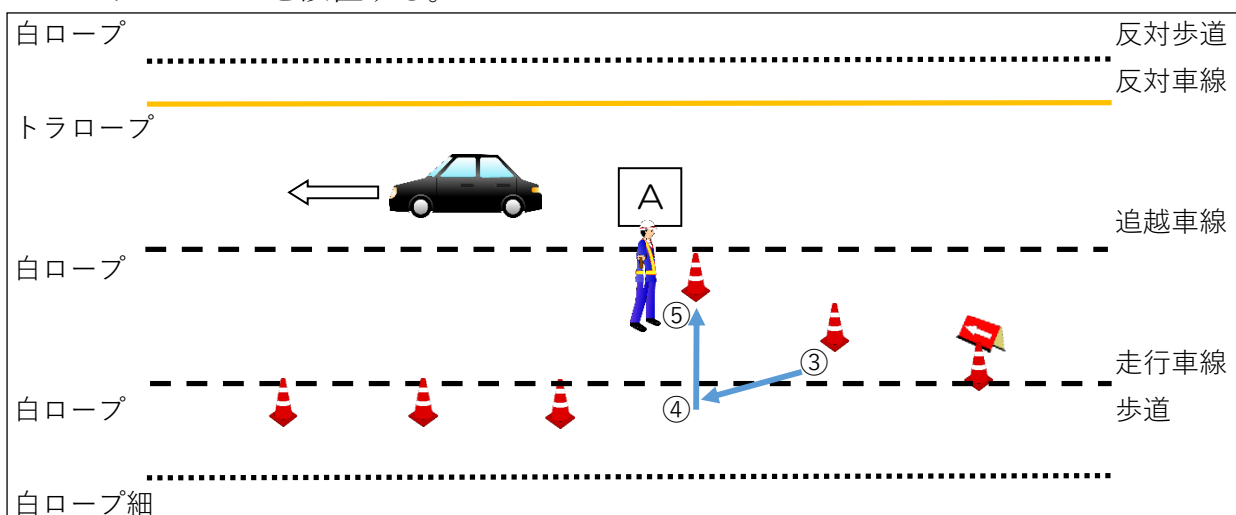
λ 停止予告、停止の合図

- a 右手に白旗、左手に赤旗を持ち、警笛をくわえ、進行してくる車両に正対する。
- b 左手に持った赤旗を、側頭部に沿って垂直に上げ、車両を注視しながら左右振り幅約 30cm に振る。
- c 相手車両の徐行等によって、予告合図を了解したことを確認する。
- d 赤旗を左に左肩の高さ水平まで下ろし、ぴたりと止める。
- e 車両が停止したことを確認後、礼をする。
- f 警笛は、予告の合図を行いながら約 3 秒間吹く。このとき、腕を水平に下ろし終わると同時に警笛の最後が一致するようにする。警笛の最後は、「ピーピッ」と区切る。

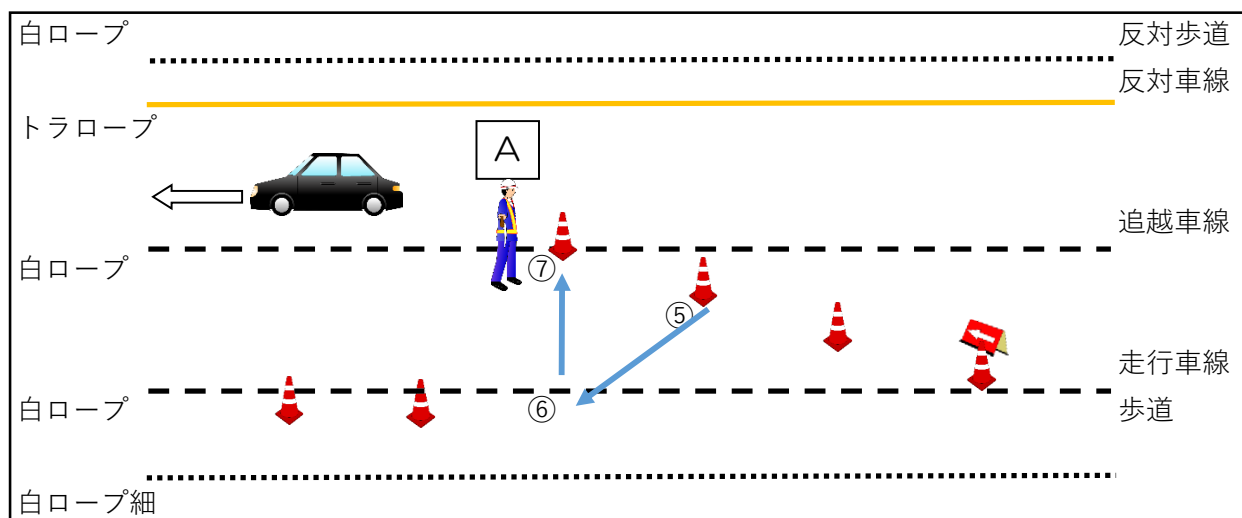
(3) 幅寄せ合図②-コーン設置③ Aは周囲の車両を警戒しつつ、歩道の境目から②に移動する。Aは②で進行して来る車両に幅寄せの合図を行う。Aは周囲に車両が通行していないことを確認し、赤白旗を旗ケースに収納してから②のカラーコーンを持ち、③でカラーコーンを設置する。



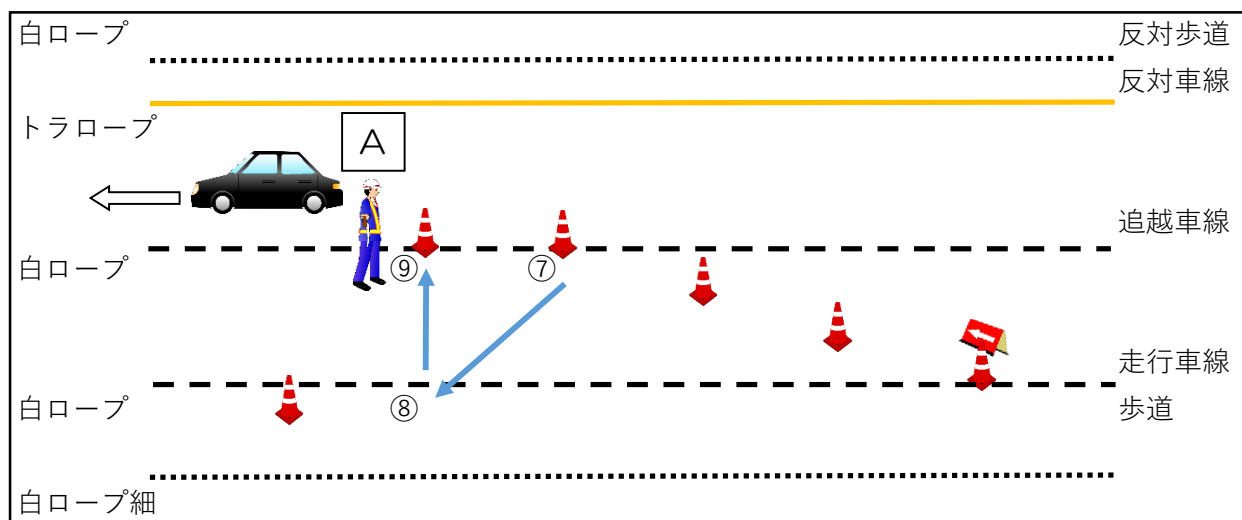
(4) 幅寄せ合図④-コーン設置⑤ Aは周囲の車両を警戒しつつ、③から④の位置に移動する。Aは④で進行して来る車両に幅寄せの合図を行う。Aは周囲に車両が通行していないことを確認し、赤白旗を旗ケースに収納してから④のカラーコーンを持ち、⑤でカラーコーンを設置する。



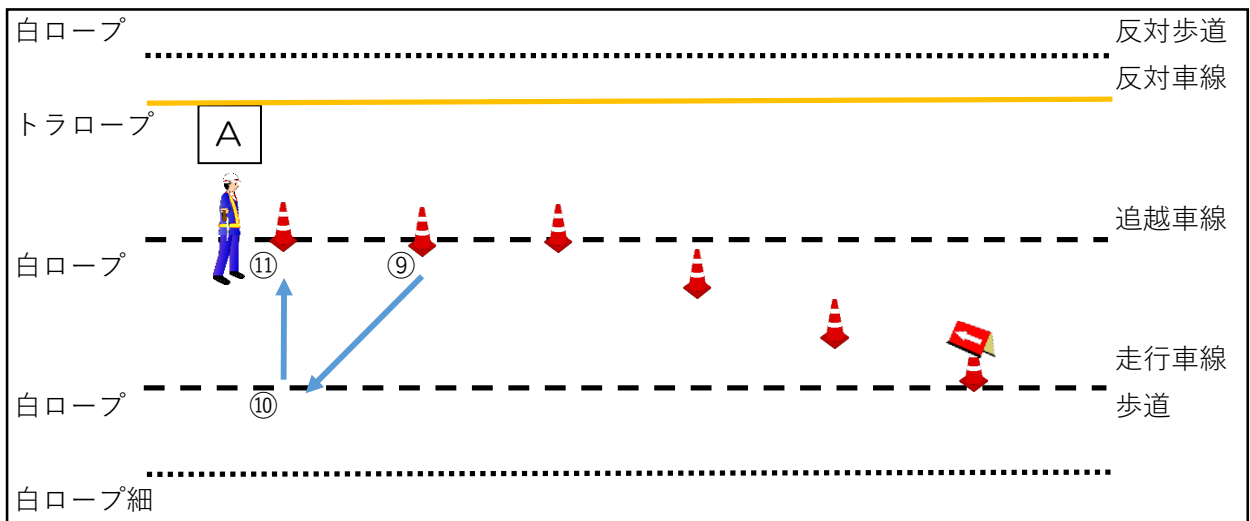
- (5) 幅寄せ合図⑥-コーン設置⑦ Aは周囲の車両を警戒しつつ、⑤から⑥の位置に移動する。Aは⑥で進行して来る車両に幅寄せの合図を行う。Aは周囲に車両が通行していないことを確認し、赤白旗を旗ケースに収納してから⑥のカラーコーンを持ち、⑦でカラーコーンを設置する。



- (6) 幅寄せ合図⑧-コーン設置⑨ Aは周囲の車両を警戒しつつ、⑦から⑧の位置に移動する。Aは⑧で進行して来る車両に幅寄せの合図を行う。Aは周囲に車両が通行していないことを確認し、赤白旗を旗ケースに収納してから⑧のカラーコーンを持ち、⑨でカラーコーンを設置する。



(7) 幅寄せ合図⑩-コーン設置⑪ Aは周囲の車両を警戒しつつ、⑨から⑩の位置に移動する。Aは⑩で進行して来る車両に幅寄せの合図を行う。Aは周囲に車両が通行していないことを確認し、赤白旗を旗ケースに収納してから⑩のカラーコーンを持ち、⑪でカラーコーンを設置する。



(8) 規制帯の設置完了報告 Aは⑩からZに移動する。このとき通行車両から目を離さない。Aは、Zで進行して来る車両に幅寄せの合図を行う。Aは、周囲の車両を警戒しつつ審査員Bに規制完了の報告を無線機で行う

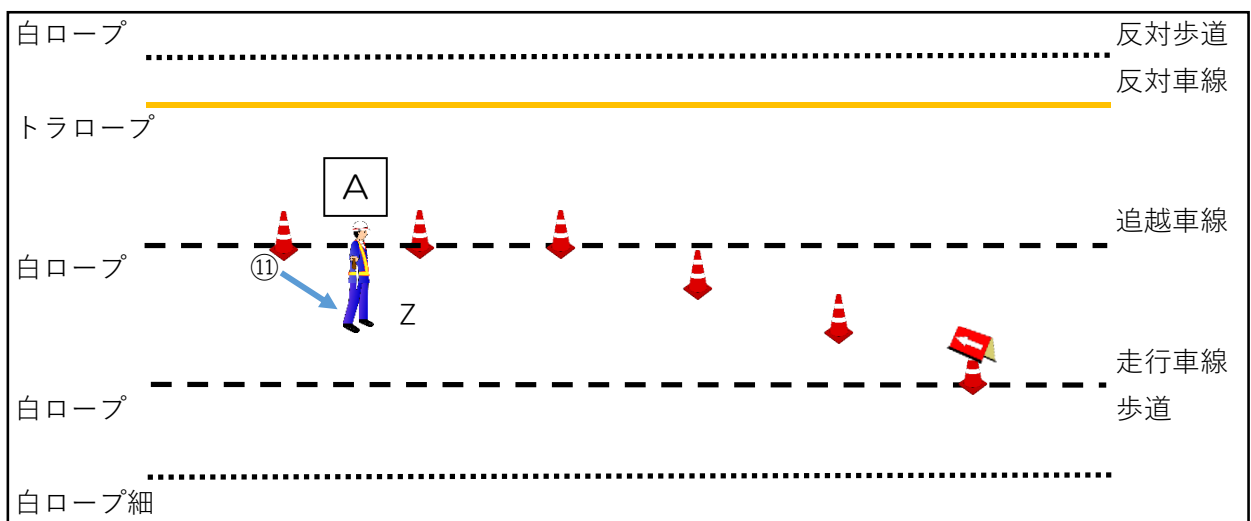
A 「Bさん、Bさん、こちらAです。どうぞ。」

B 「Bです。どうぞ。」

A 「こちら側の規制設置が完了しました。どうぞ。」

B 「規制設置完了の件、了解。どうぞ。」

A 「以上A。」



(9) **工事車両の引き込み連絡** Aは、Zで進行して来る車両に幅寄せの合図を行う。審査員Bは無線機で、Aに工事車両が接近した旨の連絡を入れ、Aは無線機でこれに応答する。

B 「Aさん、Aさん、こちらBです。どうぞ。」

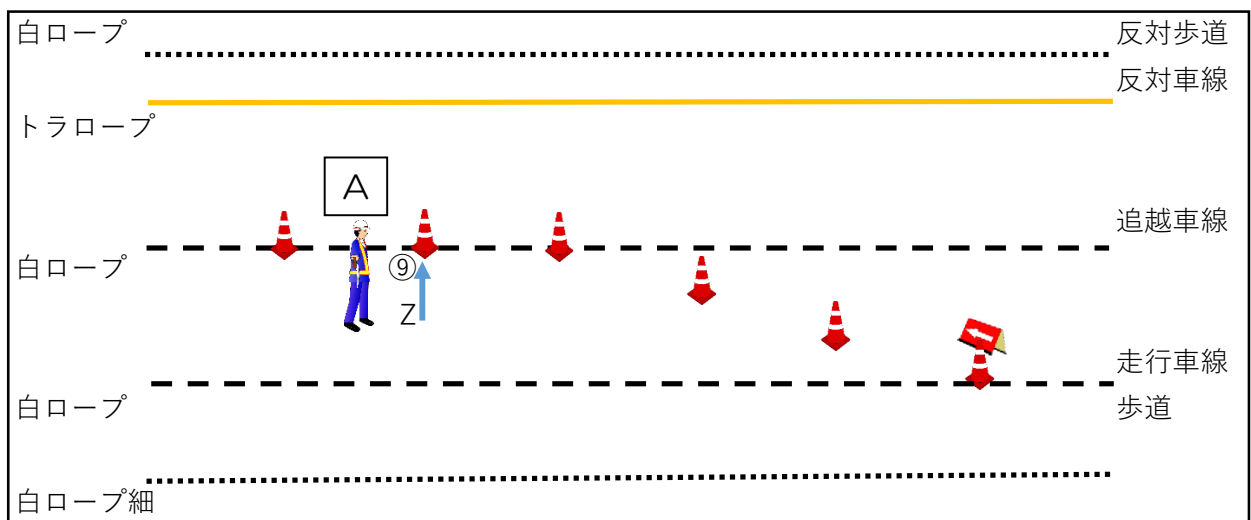
A 「こちらAです。どうぞ。」

B 「間もなく工事車両が到着、引き込み誘導をお願いします。どうぞ。」

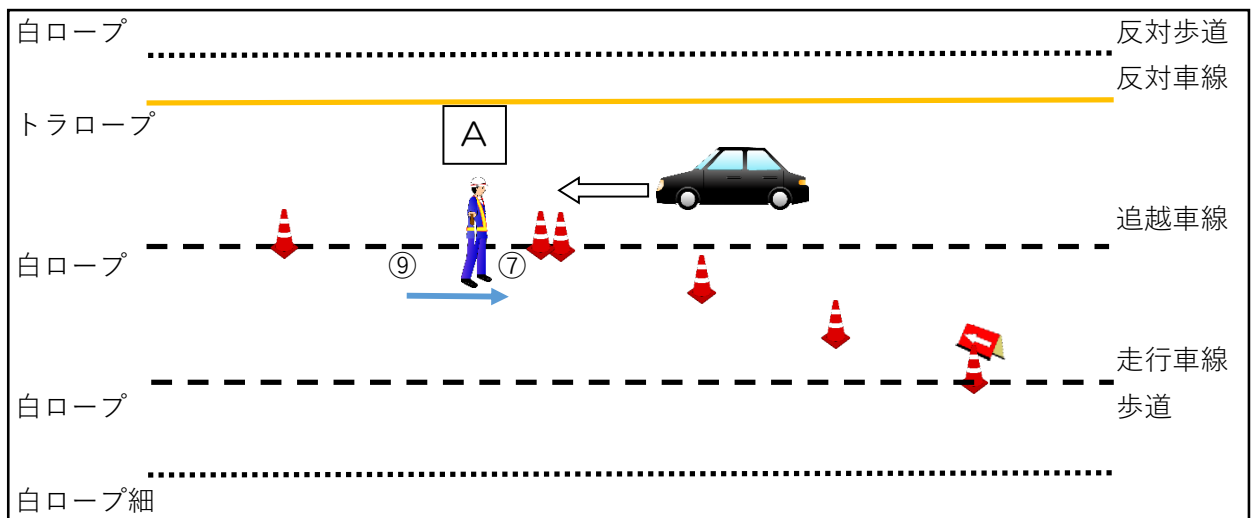
A 「引き込み誘導の件、了解。どうぞ。」

B 「以上、B。」

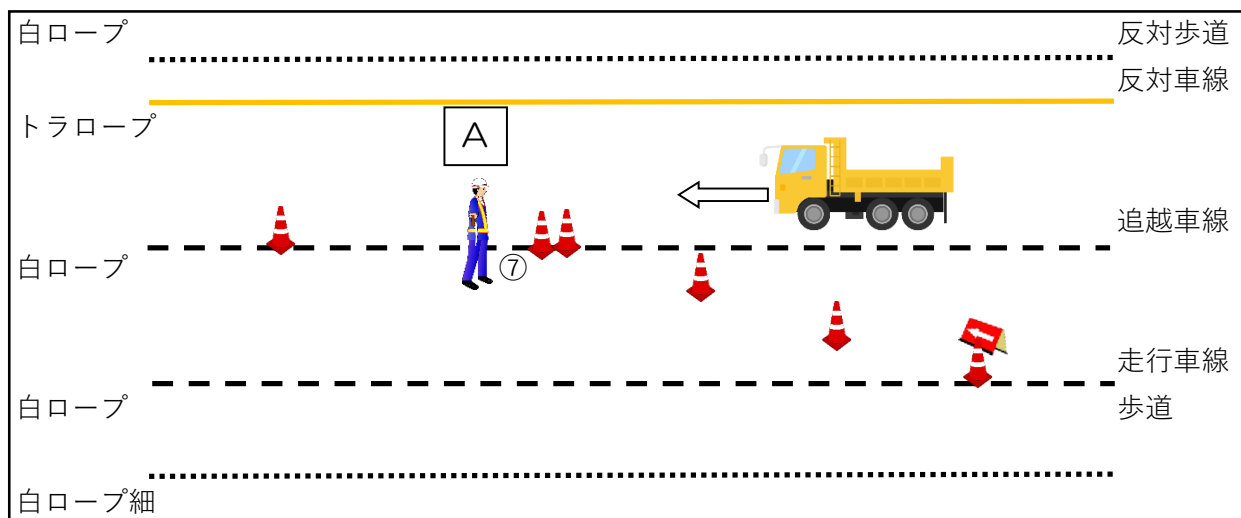
Aは、Zから最寄りのカラーコーン⑨に移動する。このとき周囲の車両の警戒を怠らない。



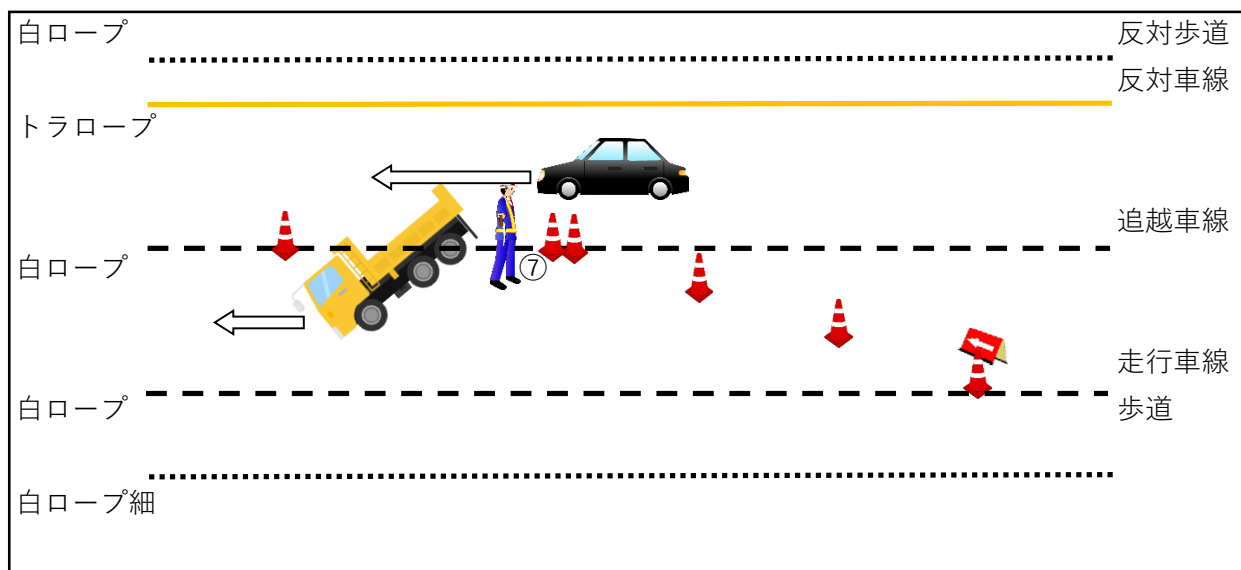
(10) **引き込み準備** Aは、⑨のカラーコーンを⑦のカラーコーンに移動させる。このとき周囲の車両の警戒を怠らない。Aは、⑦で【進行の合図】を行い、一般車両を誘導する。進行の合図は車両に対して左足を引いてやや半身の体勢となり、車両を注視しながら、右手の白旗を肩の高さまで水平に上げる。体の前、下半身を通して左肘まで数回振る。



(11) **引き込み誘導** Aは⑦で工事車両に引き込み合図を行う。引き込み合図は、工事車両に正対し白旗を頭上 60cm の高へ垂直に上げる。工事車両を注視しながら頭上 60cm の高さで左右に 30cm の振り幅で振る。



(12) **一般車両の誤進入防止** Aは⑦で工事車両を走行車線に引き込んだら直ぐに、後続の一般車両に対して幅寄せの合図を行い追越車線に誘導する。



警備業務 競技課題B

1 競技概要

オフィスビルにおける施設警備業務に関し、防犯、防災、設備保全を目的とする夜間巡回時における施錠状態の確認、危険個所の点検、不審物・不審者発見時の対応等の巡回実施要領につき競技を行う。

2 競技（動作・文言）のポイント

- (1) 夜間業務の危険性に対する準備は適切か。
- (2) 移動歩行時に受傷事故防止を心掛けているか。
- (3) 危険箇所点検の方法、安全確認は適切か。
- (4) 不審物発見時の措置は適切か。
- (5) 不審者と対峙したときの自身の安全確保、対応は適切か。

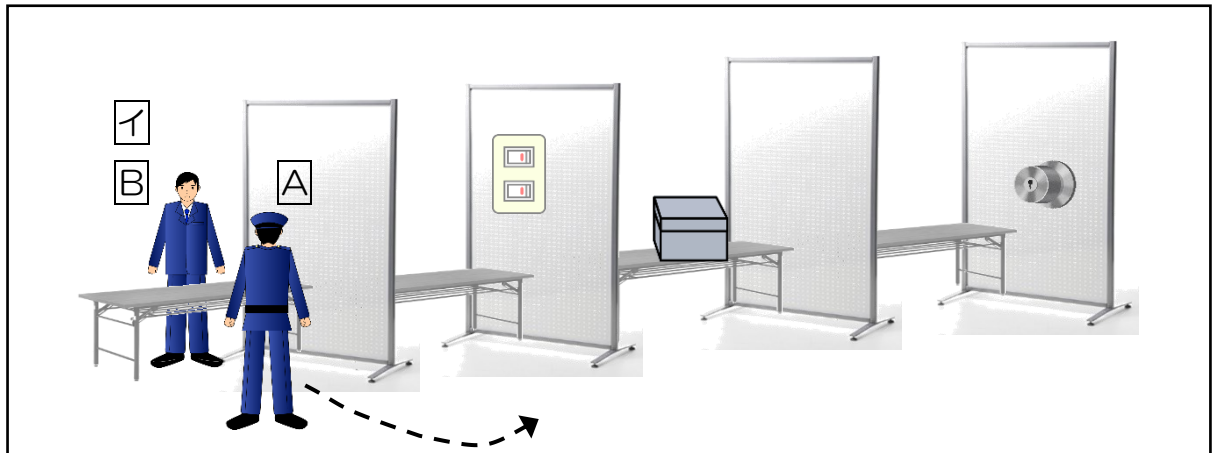
3 使用資機材

- | | |
|------------------|----------------|
| ① 警戒棒 | 1本（無くてもよい） |
| ② 懐中電灯 | 1個 |
| ③ トランシーバ | 1台 |
| ④ 段ボール箱（不審物） | 1個 |
| ⑤ 社員証（不審者所持） | 1個 |
| ⑥ 壁スイッチ、ドアノブ | 各1個（イラストで代用も可） |
| ⑦ パーテーション（1.2m幅） | 4枚 |
| ⑧ 机（1.8m幅） | 3脚 |

4 実施動作及び文言

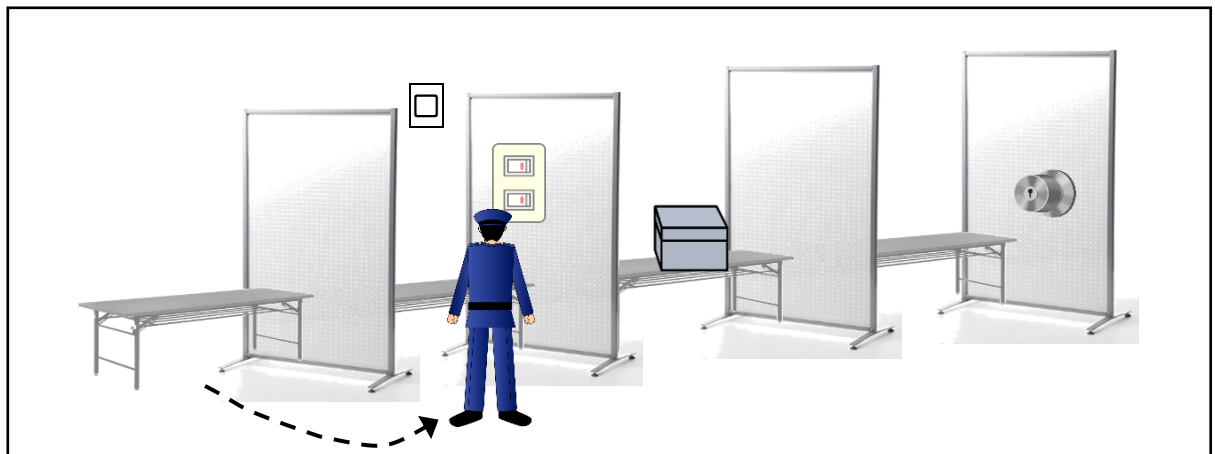
※ **A**・実施者（巡回実施警備員）、**B**及び**C**・採点者（警備室待機警備員・不審者）

- (1) 実施者Aは、警備室でBに対し「巡回業務を実施します。」と申告し、（警戒棒を警戒棒ホルダーに装着、）トランシーバを首から下げ、懐中電灯を左手に持ち、巡回に出発する。



- (2) Aは、懐中電灯で前方足元及び周囲を照らし、警戒しながら点検箇所口に移動する。

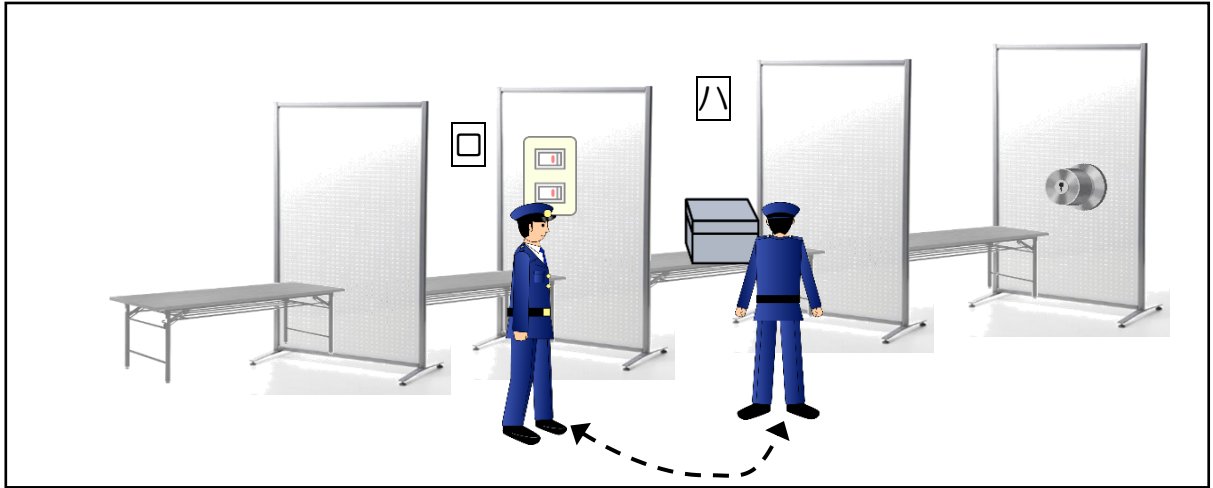
- ① 室内電灯が点灯している（想定）ので、室内全体を見回した後、室内電灯スイッチを【OFF】にし（スイッチ2か所を押す動作）、スイッチを指差し「消灯よし。」と申告する。
- ② さらに、室内全体を懐中電灯で照らし、「異常なし。」と申告する。



- (3) Aは、懐中電灯で前方足元及び周囲を照らし、警戒しながら点検箇所ハに移動する。

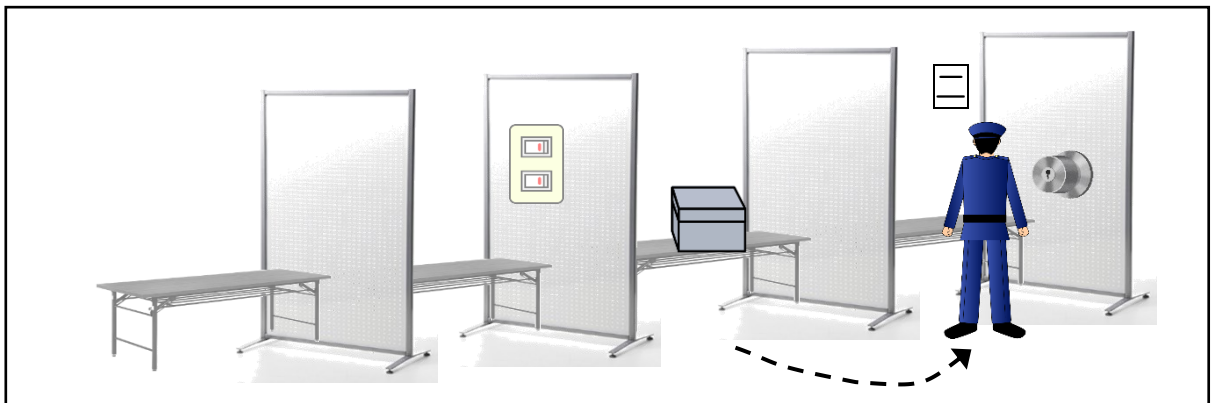
- ① 室内全体を懐中電灯で照らし、段ボール箱を発見、「不審物発見。」と申告する。
- ② 安全な位置口に退避し、Bにトランシーバで次のように報告する。
A 「警備室、警備室、〇〇です。どうぞ。」
B 「こちら警備室、どうぞ。」
A 「ハで不審な段ボール箱を発見したので、退避しました。対処について指示をお願いします。どうぞ。」
B 「段ボール箱は届出済みの物件。そのまま、巡回を続けてください。どうぞ。」
A 「了解しました。巡回を続けます。以上、〇〇。」

- ③ Aは、ハに移動し、室内全体を懐中電灯で照らし、「異常なし。」と申告する。



- (4) Aは、懐中電灯で前方足元及び周囲を照らし、警戒しながら点検箇所ニに移動する。

- ① 室内全体を懐中電灯で照らした後、ドアノブを回しドアの施錠確認をする。
- ② ドアノブを指差し、「施錠よし。」と申告、さらに室内全体を指差し、「異常なし。」と申告する。



- (5) Aは、懐中電灯で前方足元及び周囲を照らし、警戒しながら点検箇所ホに移動する。

- ① 不審者Cと遭遇する。
- ② Cから2メートル以上の距離に下がり、「お待ちください。失礼ですが、どちら様でしょうか。」と尋ねる。
- ③ Cは、「営業部の斉藤です。残業していました。」と言いながら、社員証を呈示する。
- ④ Aは、「拝見します。」と言い、Cに近づいて社員証を受け取り、2, 3歩下がる。
- ⑤ Aは、社員証の氏名を確認し、その写真とCの顔を見比べた後、「ありがとうございます。営業部の斉藤様ですね。今後、残業されるときは残業届の提出をお願いします。」と申告する。
- ⑥ Cは、「わかりました。」と言い、退出する（開始位置イに向かう）。
- ⑦ Aは、「お疲れさまでした。」言い、Cが退出するのを確認した後、Bにトランシーブで次のように報告する。
 - A 「警備室、警備室、〇〇です。どうぞ。」
 - B 「こちら警備室、どうぞ。」
 - A 「無届残業の営業部斉藤様が、今、退社されましたので、よろしく申し上げます。なお、残業届について説明しました。どうぞ。」

B 「営業部齊藤様の件、了解。どうぞ。」

A 「以上、〇〇。」



(6) Aは、イに戻り、Bに対し「巡回終了しました。」と申告する。

